

全般 1 か月予報

(7月16日から8月15日までの天候見通し)

平成17年7月15日

気象庁 地球環境・海洋部発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

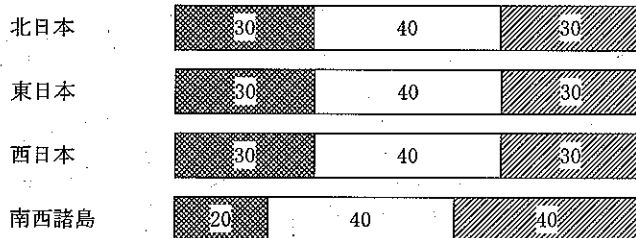
天気は北日本で数日の周期で変わり、東日本日本海側で平年に比べ晴れの日が多いでしょう。その他の地方は平年と同様に晴れの日が多いですが、天気のぐずつく時期があるでしょう。

向こう1か月の平均気温は南西諸島で平年並か高い他は、平年並でしょう。降水量は東日本と西日本で平年並で、北日本と南西諸島で平年並が多いでしょう。日照時間は東日本日本海側で平年並か多い他は、平年並でしょう。

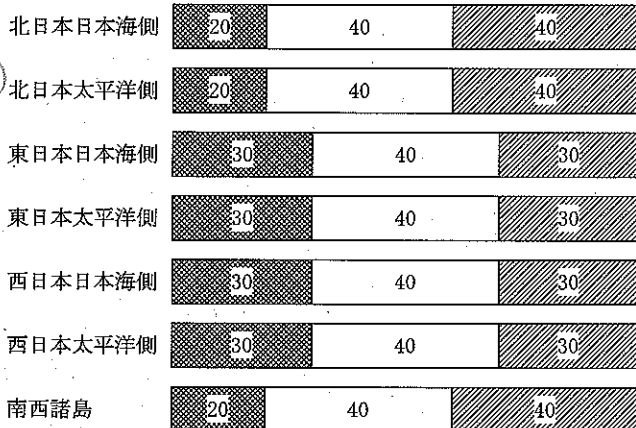
週別の気温は1週目は南西諸島で平年並の他は、平年並か高いでしょう。2週目、3～4週目はともに南西諸島で平年並か高い他は、平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

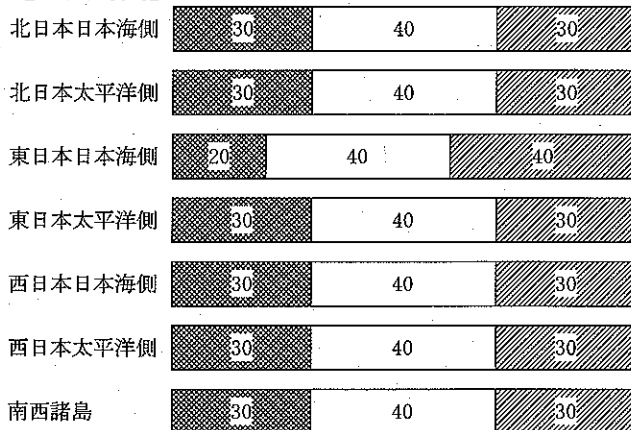
[気 温]



[降 水 量]

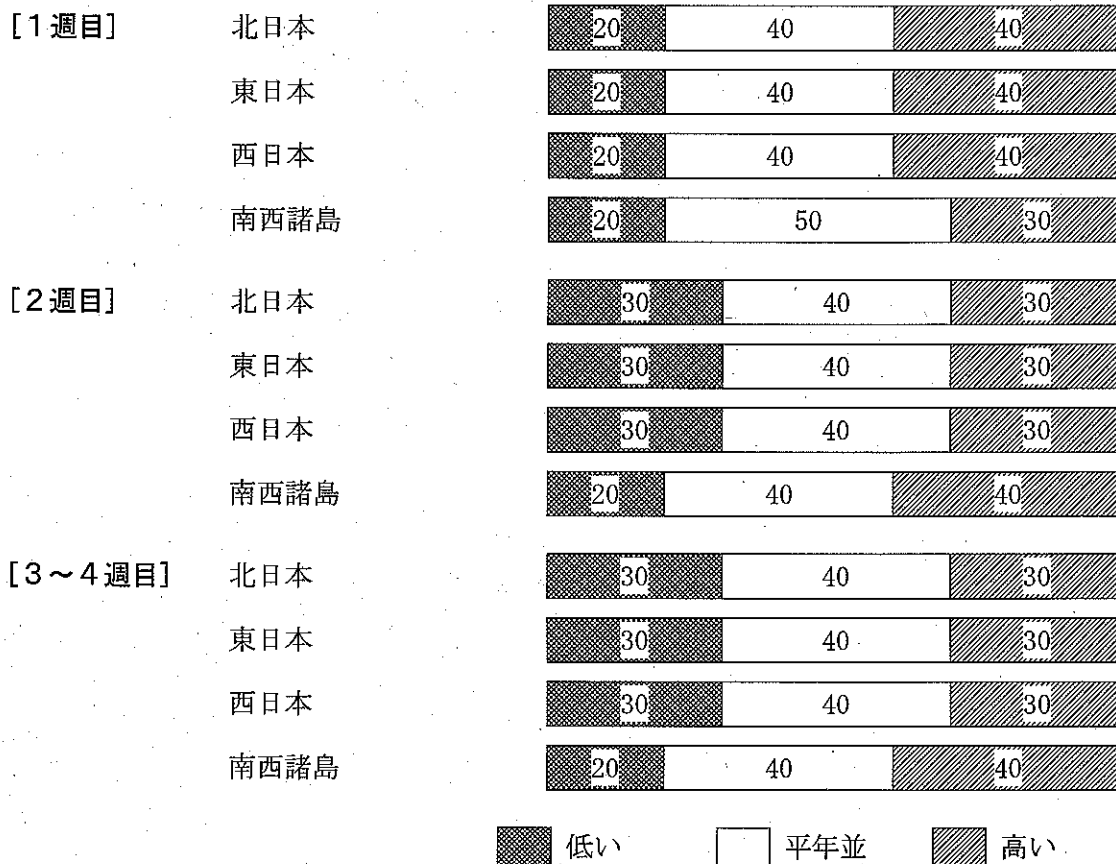


[日照時間]



低い(少ない)
 平年並
 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率（％）>



<予報の対象期間>

1か月 : 7月16日(土) ～ 8月15日(月)
 1週目 : 7月16日(土) ～ 7月22日(金)
 2週目 : 7月23日(土) ～ 7月29日(金)
 3～4週目 : 7月30日(土) ～ 8月12日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日14時30分発表 次回は7月22日
 3か月予報：7月25日(月) 14時

<参考資料（平年並の範囲）>

（１）1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差（℃）		降水量平年比（％）	日照時間平年比（％）
北日本	-0.6～+0.6	日本海側	79～112	93～108
		太平洋側	81～115	93～112
東日本	-0.2～+0.4	日本海側	69～119	90～114
		太平洋側	71～105	94～110
西日本	-0.2～+0.4	日本海側	67～111	90～115
		太平洋側	68～104	94～110
南西諸島	-0.2～+0.2		75～113	97～105

（２）この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
北日本	-0.8～+1.0	-0.6～+1.1	-0.7～+0.8
東日本	-0.6～+0.7	-0.4～+0.7	-0.3～+0.7
西日本	-0.4～+0.5	-0.2～+0.6	-0.3～+0.4
南西諸島	-0.2～+0.4	-0.2～+0.3	-0.2～+0.2

<参考資料（利用上の注意）>

- （１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。